

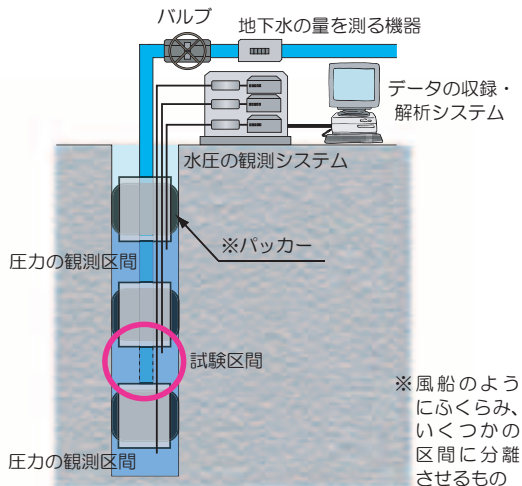


主立坑と換気立坑の底からのボーリング作業を終了

瑞浪超深地層研究所の2つの立坑内では、安全な工事のために必要な地下の様子をより詳しく知る目的でボーリングを行っています。

10月初めには、主立坑の底（深さ180 ㍍から）から深さ348 ㍍（地表からの深さ528 ㍍）、換気立坑の底（深さ191 ㍍から）から深さ335 ㍍（地表からの深さ526 ㍍）までのボーリングの掘削作業が終了しました。

今後は、この掘削したボーリング孔で地下水の通し易さなどを調べる試験（透水試験といいます。）を10月下旬頃まで行っていきます。



【地下水の観測の概念図】

来月の主な作業予定 (11月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ①立坑の掘削工事
- ②排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ③既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔）での水圧などの長期観測
- ④深度100 ㍍の水平の坑道における地下水の水圧・水質の観測
- ⑤狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑥研究坑道の排水に伴う環境管理測定
- ⑦表層水理観測（気象観測、傾斜量の観測など）

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測
- ②地下水の採水作業（電力中央研究所との共同研究）

環境保全協定書に基づく測定結果は地層研ニュース裏面に掲載しています。

※測定は毎月1回の予定です。また、調査結果は毎月ホームページでも紹介しております。

ホームページアドレス：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/anzen/miu_sokutei/sokutei.html

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記までお問合せください。

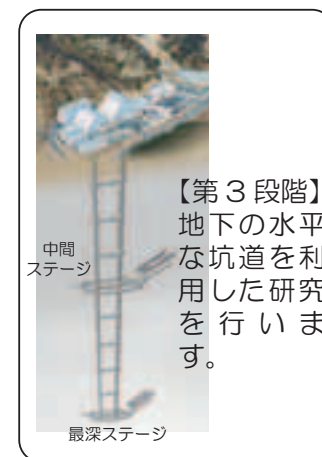
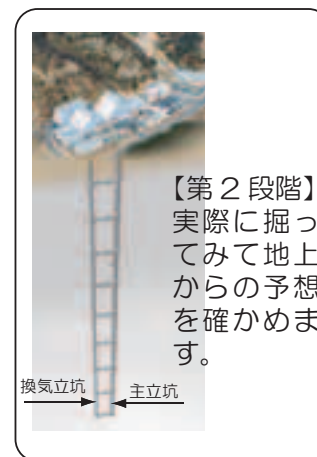
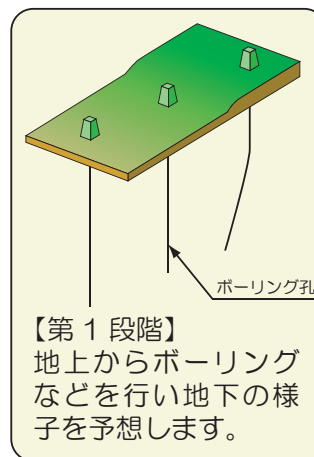
【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-Mail】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>》

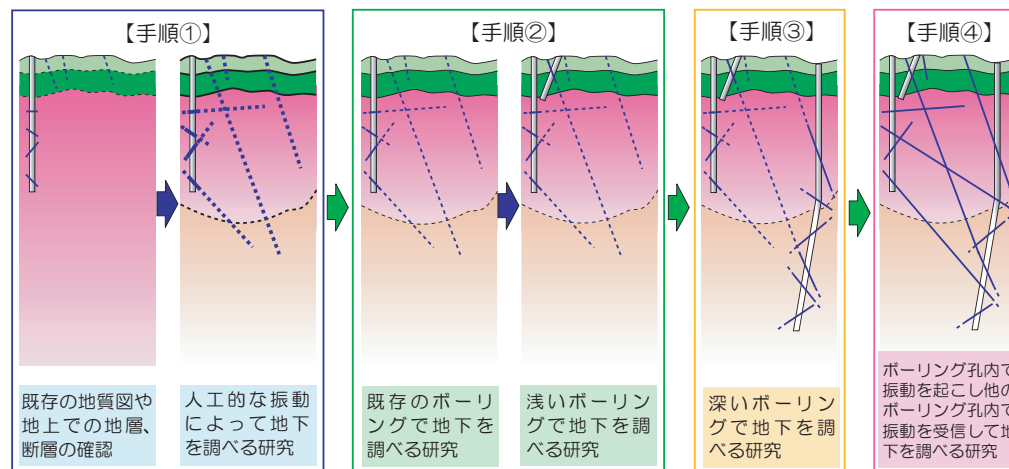
東濃地科学センター 地域交流課（栢、木内、福島）

瑞浪超深地層研究所における第1段階の研究の成果

今月号より、瑞浪超深地層研究所の研究成果についてご紹介します。今回は研究の進め方についてご紹介します。瑞浪超深地層研究所での研究は、3つの段階に分けて進めています。



第1段階の研究は終了し、現在第2段階の研究を行っています。今月号からご紹介する研究成果は、この第1段階の成果となります。第1段階の研究は、大きく分けて4つの手順に分けて行いました。



■ 堆積岩 ■ 花崗岩 — 断層や割れ目帯 (— 確定 予想)

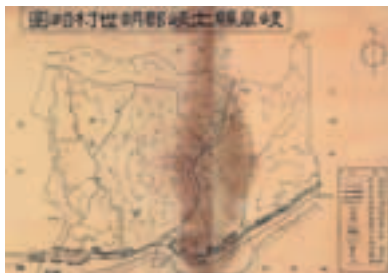
来月号からは、研究成果を手順①から順にご紹介していきます。

歴史・史跡を歩く in みずなみ

【明世の地名の由来】

明治 30 年頃、明世町は明世村と呼ばれ、月吉・戸狩・山野内・河合の 4 ヶ村が合併してできました。昭和 29 年、瑞浪市が発足する際に明世村の河合地区が土岐市の泉町へ編入され、現在の明世町となりました。

明世の名前の由来は、明治の「明」と明世村が発足した明治 30 年の三十の略字「世」と組合わせて「明世」となりました。また、「明るい 4 ヶ村」との願いを込めて付けられたとも言われています。



明世村の地図

瑞浪超深地層研究所を見ませんか？

瑞浪超深地層研究所の見学会を下記のとおり開催いたします。希望される方は 11 月 22 日（水）までに住所、氏名、電話番号、長靴のサイズをお知らせの上、お申し込みください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、見学会は今後とも毎月開催する予定です。

【開催日時】平成 18 年 11 月 26 日（日）9:30～11:30

【対象】小学校 4 年生以上

（工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校 4 年生以上の方に限らせていただき保護者の同行をお願いしております。ご協力をお願いいたします）

【申込み先】0572-66-2244（地域交流課まで）

〔FAX〕0572-66-2124 〔E-mail〕tono-ck@jaea.go.jp

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません。

東濃地球科学セミナーの開催

東濃地科学センターでは、第 11 回東濃地球科学セミナーを下記のとおり開催いたします。皆様お誘い合わせの上、足をお運びください。

【テーマ】

私たちが今ここにいる理由
～天変地異が生物進化を変えた～

入場無料

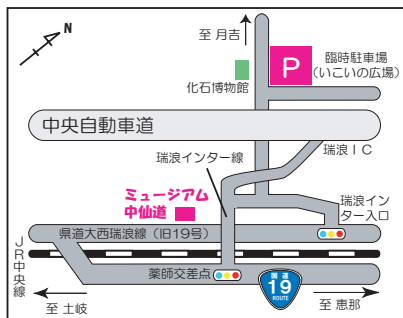
講師：磯崎 行雄氏

日時：11 月 18 日（土）13:30～15:30

会場：ミュージアム中仙道 2F

多目的ホール

※ なお、臨時駐車場に駐車の方は、送迎バスがございますのでご利用ください（無料）。



「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果（平成18年9月分）

【採取日：平成 18 年 9 月 5 日】

単位：mg/l ※（水素イオン濃度は pH）

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.2	7.1
浮遊物質	25 以下	1 未満	1 未満
カドミウム	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず	
有機燐			
鉛	0.01 以下	0.006	0.005 未満
六価クロム	0.05 以下	0.04 未満	0.04 未満
砒素	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満
総水銀	0.0005 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず
トリクロロフルン	0.03 以下	0.002 未満	0.002 未満
テトラクロロフルン	0.01 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
四塩化炭素	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
ジクロロメタン	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満
1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	0.0004 未満	0.0004 未満
1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下	0.0006 未満	0.0006 未満
1,1-ジクロロエタン	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満
ジブクロロメタン	0.04 以下	0.004 未満	0.004 未満
1,3-ジクロロプロパン	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
チウラム	0.006 以下	0.0006 未満	0.0006 未満
シマジン	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満
チオベンカルブ	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満
ベンゼン	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
セレン	0.01 以下	0.002 未満	0.002 未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下	0.5	0.5
ふっ素	0.8 以下	0.4	0.4
ほう素	1 以下	0.02 未満	0.02 未満
塩化物イオン			
アミン、アミン化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.57	

※ ¹ 立坑の湧水	※ ² 狭間川上流	※ ³ 掘削土の溶出量（主立坑）	※ ³ 掘削土の溶出量（換気立坑）
8.8	7.1		
	2		
0.001 未満	0.001 未満	—	—
検出されず	検出されず	—	—
0.005 未満	0.005 未満	—	—
0.04 未満	0.04 未満	—	—
0.005 未満	0.005 未満	—	—
0.0005 未満	0.0005 未満	—	—
検出されず	検出されず	—	—
検出されず	検出されず	—	—
0.002 未満	0.002 未満	—	—
0.0005 未満	0.0005 未満	—	—
0.0002 未満	0.0002 未満	—	—
0.002 未満	0.002 未満	—	—
0.0004 未満	0.0004 未満	—	—
0.0005 未満	0.0005 未満	—	—
0.0006 未満	0.0006 未満	—	—
0.002 未満	0.002 未満	—	—
0.004 未満	0.004 未満	—	—
0.0002 未満	0.0002 未満	—	—
0.0006 未満	0.0006 未満	—	—
0.003 未満	0.003 未満	—	—
0.002 未満	0.002 未満	—	—
0.001 未満	0.001 未満	—	—
0.002 未満	0.002 未満	—	—
0.10	0.2		
9.2	0.1 未満	—	—
1.5	0.02 未満	—	—
200			

注意：□ は※⁴ 参考値となります。

※¹ 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※² 狭間川上流は排水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※³ 溶出量とは水の中に溶け出した物質の量のこと。当該月（9 月）は掘削作業を行っていないため掘削土の測定はありません。
 ※⁴ □ は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。